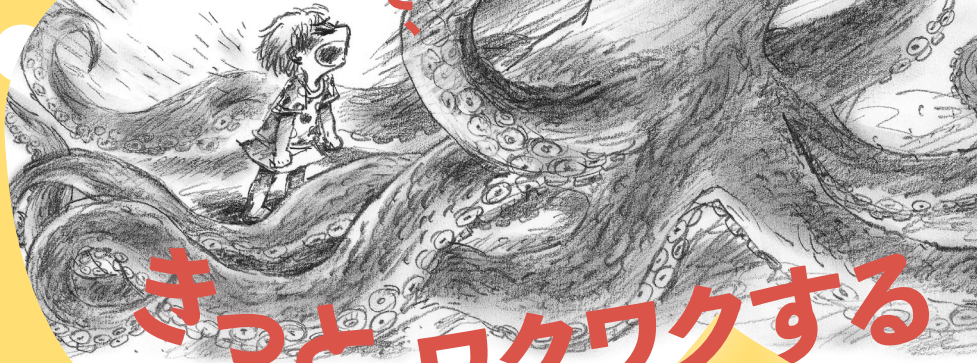


いいこと考えた、
自分でお話つくって、
その感想文書く

夏休み、小学3年生のみずかは宿題の感想文が大の苦手。だって『まんぎつね』も『人魚姫』も『幸福の王子』も「かわいそう。」しか書けない。自分じゃないものの気持ちになつて、なんてムリムリムリ。迫るメ切りみずかはひらめいた。「いいこと考えた、自分でお話書いてその感想文を書く、それだったらきつとワクワクする」戸惑う親友のあかねも巻き込んで、みずかの感想文大作戦が始まる…！
はたして、お話を完成させることができるのか？
そして、感想文を書くことはできるのか…!?



きっと、ワクワクする

自分じゃない物の気持ちになって…なんて
ムリムリムリ!

原作:山本悦子:作 佐藤真紀子:絵
「先生、感想文、書けません!」(童心社)

脚本・演出:田辺剛(下鴨車窓)

美術:岡田保(かすがい創造庫・演劇組織KIMYO) 照明:河口琢磨

音楽・音響:ソノヤママナコ 衣装:さくま晶子 人形製作:加藤典子(人形劇団パン)

振付:下出祐子 照明操作:若狭慶大・安形亜由美 音響操作:堀場眼助

写真:服部義安 映像:山内崇裕 宣伝美術:太田貴子

先生、
感想文、
書けません!

劇団 **うりんこ**

うりんことは「猪の子ども」という意味。猪のように子どもたちのところへ真っ直ぐ走りたいという願いが込められています。全国のおよご劇場・子ども劇場公演、学校公演、公立文化施設公演、児童館や教育委員会主催公演など、活動は、全国、海外に及びます。